



道しるべ

《人と自然にやさしい里づくり 住み続けたい亀ヶ森》

発行 亀ヶ森地区

コミュニティ会議

〒028-3204

花巻市大迫町亀ヶ森 8-24-8

平成 30年 7月 No.92

感謝状 (詳細は裏面を) 受領

感謝状の文面は防犯や交通安全関係などの役員を永年務めた方々と共通でしたが、受賞理由はモデル地区指定を受け、『多彩な活動をして高齢者の交通安全に努めた』という説明でした。

『高齢者の』に違和感がありました。改めて参加者の年齢や誓約書及び安全教室の内容を見て納得した次第でした。感謝状の受領を報告し、地区の皆さんのご協力に改めて感謝申し上げます。

敬老会を迎えて

実行委員会で八月二六日に開催することを決定しました。私も被招待者になって三年目(喜寿)を迎えました。去年までは主催者の立場で文を書いたり話したりしていましたが、今回は被招待者の立場から感じた事を述べてみます。敬老会に冠した『暦年に感謝する集い』は他の地区に見られない優れた点でありがたく思います。

しかし、①感謝されるような歳月を過ごしてきたのか?と不安が胸をよぎります。「冷酒と親の小言は後から効く」ということわざがありますが『親』を『年寄』に置き換え、この年まで生きてみてわかったことをわが子に限らず若い方々に話すことで応えることにさせてもらいたいと思いません。

でも、理解してもらえなかったり、生臭い話で恥ずかしかったり話すことが難しいと思いますが、生きてきた証しとこれから生かさせてもらうために・・・やはり、ためらう。しかし、私たちは一人では生きれず、貸し借りを作りながら

も今まで世代をつないできたことは事実ですから、勇気を出さねば・・・。私たち高齢者の話が若い方々の何人かに『あ』の話を聞いておいてよかった。』と言ってもらえることを夢見ながら・・・。

喜寿まで生きて過去を振り返ると『迷走』『迷想』を繰り返してきたが、当日、参加者の皆さんと話し合い『瞑想』できるヒントを得たいと思います。

②これからも感謝してもらうために

最近、『健康寿命』『地域における福祉』『終活』という言葉がよく聞きます。少子高齢社会を迎え、医療費や社会福祉費が膨らみ限界が近づいているからだと思います。高度経済成長期後の豊かな社会に生まれ少子化の中で過保護に育った方々も多くなった。その方々の世話になる我々の努力も求められるでしょう。

これからの社会では生活習慣の見直しや趣味などを考え、地域の皆さんとうちとけ、身内や親せきと信頼関係を保ち相互に力の貸し借りを可能にしておきたいと思う。

『終活』は、子孫に負担をかけないようにしたいが葬儀の仕方まで指示して逝く気にはならない。自然な気持ちで送ってもらえるように自分の生き方を整えたいと思う。

市政の変遷 (私が会長を仰せつかった五年間の主な変化)

- 1 亀ヶ森振興センター業務終了。(市職員不在に)
- 2 コミュニティに農耕センターと体育館の管理を委託
- 3 亀ヶ森の人口の変化 一七六名→一〇六三名
敬老会の被招待者 二七〇名→二六四名

文責 会長 高橋 正克



第2回ふるさとふれあい夏祭り



と き 平成30年8月4日 (土) 午後5時より
ところ 亀ヶ森振興センター前広場

特設駐車場：亀ヶ森小学校、リンゴ出荷組合、JA雑穀センター

- ☆ 保育園児による遊戯
- ☆ 小学校児童によるさんさ踊り
- ミニあんどんコンクール
- ☆ お楽しみじゃんけん大会
- ☆ 花火

売 店



じゃんけん大会は、豪華景品を用意しています!(^)!
皆さん誘い合わせて、是非お越しください! ☆!

主催 亀ヶ森地区ふるさとふれあい夏祭り実行委員会

花巻警察署 署長感謝状

花巻、北上、奥州の3警察署で2018年度感謝状贈呈式が行われ、「亀ヶ森地区コミュニティ会議」に【花巻警察署署長感謝状】が贈呈されました。

昨年度交通安全モデル地区の指定を受け①地域で交通安全誓約書の提出(地区民657名)②交通安全チャレンジ100への参加(4チーム26名参加 全チーム目標達成)③高齢者の交通安全教室の開催等を地域で取り組みしたことが評価されての表彰です。



「ふるさと写真展」

亀ヶ森写真同好会 フォトうすゆきの写真展を
亀ヶ森振興センター大会議室で開催します。

開催期間 8月4日(土)～8月16日(木) 午前9時～午後5時まで
※8月11日(土)、12日(日)は休館となります。